

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 615 2019年
1月号
1部60円
友の会会員は会費に含まれています
発行 東京勤労者医療会代々木病院
院長 河邊 博正
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi



謹賀新年



2019年 代々木病院職員一同

無差別・平等、質の高い
医療・介護を追求します

新年ごあいさつ

院長 河邊博正



新年明けましておめでとうございます。毎年思う事ですが、時が経つのは早く、あっという間の1年でした。院長2年目という事で少しは院長らしい事が出来たらと思いつつ頑張ってきましたが、数多くの宿題を残す結果となりました。昨年は「無差別・平等の医療・介護の実践」総合的な医療・介護の質の向上」を旗印に、様々な取り組みを実践して来ました。改善された面がある一方、不十分な点もまだまだあります。昨年に引き続き2つの柱を中心に医療・介護活動を実施して行きます。さらに昨年暮れ頃から取り組みを強化した、地域に根差した医療・介護活動もさらに推し進めます。

患者さんや友の会の皆さん、地域の医療機関と強く広く協力・協同・連携して、地域に大きく貢献できる病院を目指します。今年には憲法改憲、消費税増税、医療費の問題など、いのちや暮らしを守る活動もさらに積極的に進めます。今年も平和で豊かな日本の社会を目指し一緒にがんばりましょう。

新年ごあいさつ

事務長 日向正美



新年明けましておめでとうございます。旧年中は地域の皆様、代々木健康友の会の皆様を含め、多くの方々にご世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

昨年度、私たち民医連は、活動の羅針盤となる、「医療・介護活動の2つの柱」を決定しました。第1の柱は、「貧困と格差、超高齢化社会に立ち向かう無差別・平等の医療・介護の実践」です。第2の柱は、「安全、倫理、共同の営みを軸とした総合的な医療・介護の質の向上」です。当院の医療・介護活動もこの方針に照らし、旺盛にすすめてまいります。都心部での高齢化を背景に引き続き、「在宅を支える」病院としての役割と任務を全うすべく、地域や行政と連携して、無差別・平等の地域包括ケアシステムの展開をして参ります。又、地域の健康づくり、明るいまちづくりを進めるHPH（健康増進拠点病院）活動も友の会の皆様や地域町会の皆様と連携して進めて参る所存です。

医療・介護の情勢、病院経営は厳しい一年となると思われますが、病院管理部を先頭に職員一同、奮闘して参りますので、宜しくお願い申し上げます。

今年も平和といのちをまもり、健康づくりに力を尽くします

9条改憲No署名



渋谷平和行進



いのちをまもれ国民集会



健康チェック



ころばん体操



健康講座



被爆者との交流



何でも相談



沖縄辺野古支援

